



世界の取り組みで オゾンホールが縮小

心
あ
っ
た
か
ニ
ュ
ー
ス

NMCAA
NO3

一時は破壊が進んだ大気上空のオゾン層が回復傾向にあることを、米マサチューセッツ工科大のチームによって確認された。南極上空でオゾン層が極端に薄くなつて穴が開いたような状態になる「オゾンホール」が2000年を境に小さくなつている。研究者のスーザン・ソロモン博士は「世界が団結し、オゾン層を破壊する有害な分子を取り除こう」と決断をしたのです。そしてわたしたちは実際にそれらを取り除き、いま、地球がそれに応えているのを目にしています」と言う。オゾンホールの平均サイズは、2000年以来170万平方マイル、イギリスの国土の18倍以上縮小したという。フロリダが大気中に放出されてオゾンホールが拡大し、紫外線を浴びることで皮膚がんが増える懸念が1980年代以降に高まり87年にフロリの製造や使用を規制するモントリオール議定書を採用。全廃に向けた段階的な取り組みを各国が進めて

ニューヨークの地下鉄で、11歳のかわいいういカウンセラーが話題となつている。ブルックリンの学校に通うチロ・オルティーズ君は、スヌーピーで知られる漫画『Peanuts (ピーナッツ)』に登場するキャラクターのように段ボールのブースを作り、ニューヨーク地下鉄の駅構内で人々の人生相談にのつている。

自分がいじめられた経験から、困つている人を助けたい気持ちから始めたそう、お悩み相談は2ドルだが、一日50ドル稼ぐこともあるが、売り上げはスナック菓子やランチを買う余裕のない同じ学校の生徒たちに差し出されているという。チロ君は一般的なアドバイスとして

小さなお悩み相談

いるのが、効果が出始めた。日本経済新聞より

世界が同じ目的をもつて行動すると、結果、効果がでるとのことだと思ひます。本来、地球環境を世界で取り組むことは、問題が起きる以前にやりたいことだと感じます。

変化を恐れないこと」と伝えていける。

物事は常に変わるものであり、人生は変化していくものです。だからその変化を受け止めるようにすればいい」

チロ君のアドバイスはニューヨーカーたちの心に沁みるようです。と心に思つていたことをチロ君に言い当てられた」と話す女性もいたという。

エキサイト ニュースより

誰かの役に立ちたいという想いがあれば、年齢や資格じゃなく、段ボール一つできると、純粋な気持ちのみが必要なのだと思います。

編集後記

今年もいいことでした。世界がいろいろ満ち足りていくように、いいことを書いていきたいと思ひます